

15 モリアオガエル

(アオガエル科)

兵庫県ランク:B

Rhacophorus arboreus

環境省ランク:-

種の概要

日本の固有種で本州のほぼ全域に分布。頭胴長は40~80mmで、特に雌は大きい。指・趾の先端に吸盤が発達。背面は黄緑色で暗色斑を持つことが多い。虹彩が赤味を帯びる点で、シュレーゲルアオガエルと識別できる。樹上に泡に包まれた卵塊を産み付ける。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内の低地から山地にかけて広く生息が記録されているが、瀬戸内海沿岸の低地では、繁殖の知られる場所は比較的限られており、個体数も決して多くはない。加えて近年では、いくつかの繁殖地で繁殖個体の減少が示唆されている。

写真提供: 庄子 恭平

保護上の留意点

池などの水体の上に木の枝が突き出した、産卵に適した場所の維持・保存に加え、特に大量死の原因となる外来性捕食者アライグマの生息地への侵入防止、侵入した場所での駆除が重要と考えられる。

県内分布

神戸市、尼崎市、西宮市、宝塚市、三田市、西脇市、多可町、姫路市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	
学術性	孤立	
	極限	
	限界	
	希少	

